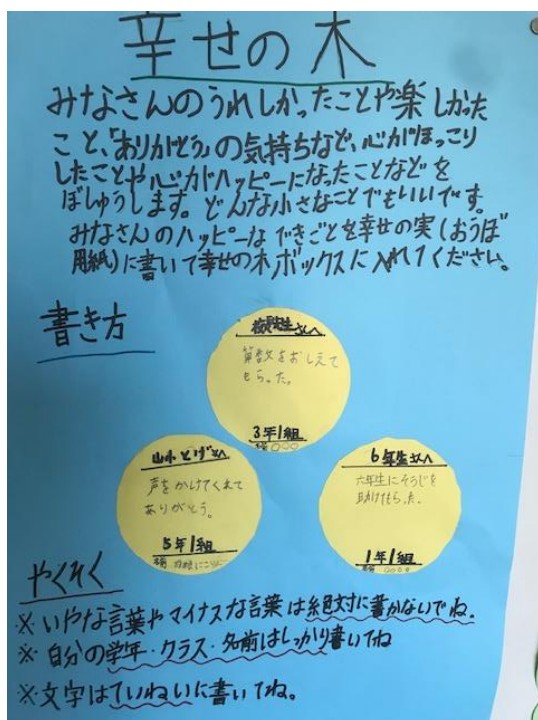




とねしょうかわらばん

がつ にちほん
2月12日版



この写真は、本校多目的室前に掲示されている、児童会の子どもたちが計画した「しあわせの木」の

取り組みです。「コロナ禍で自分たちにできることは何なのか？」という問いに対して、子どもたちは「心がほっこりすること」「心がハッピーになること」をみんなから集めて、心が温まる「しあわせの木」をつくろうという答えが出ました。左の写真の呼びかけに対して、たった1週間ほどで右の写真のとおり、たくさんの子どもたちが「心がほっこりしたりハッピーになった実」を付けてくれました。優しさいっぱいの刀根っ子です。



4年生は、体育で「ネット型ボール運動」に取り組んでいます。いわゆるバレーボールは、ボールを床に落とさないよう

に上にはじくという技術の習得が求められます。左の写真のようなバランスボールに乗りながらキャッチボールする運動や、ボールが落下する下に素早く走り込んでボールを「キャッチ」「はじく」運動などを通して、ネット型に必要な技術を楽しみ身につけ、右のようなミニゲームで習得した技術を使って試合を楽しみます。